

PRESS RELEASE

2005 年 6 月 7 日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ の迷惑メール対策ソリューションを東芝が採用

-- 「IIJ エッジフィルタ」と「IIJ 迷惑メールフィルタ」の多段構成によるフィルタリングを採用 --

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一)は、株式会社東芝に迷惑メール対策ソリューションの提供を行います。

今回提供する迷惑メール対策ソリューションは、一つのメールサーバに対し短時間に大量に流れ込むタイプの迷惑メールや明らかに不正な内容を含むメールを遮断・通信制限する『IIJ エッジフィルタ』と、受信メールが迷惑メールである「度合い」を判定してフィルタリングする『IIJ 迷惑メールフィルタ』の 2 種類です。『IIJ エッジフィルタ』は昨年の 12 月より提供、『IIJ 迷惑メールフィルタ』についてはこの 6 月よりサービス提供を開始いたします。

利用者の同意を得ずに大量に送りつけられる「迷惑メール」は、年々、送信方法も巧妙化・悪質化しており、米国においては電子メール通信量の 7 割以上を占めるといわれるまでに急増しています。日本においても被害が深刻化しており、特に企業においては、迷惑メールによって日々増加するメール流量に対応するためのシステム増強、運用過負荷に加え、不要メールによる全社的な業務効率の低下等の問題があることから、早急な対応を迫られています。

東芝では、グループネットワークにおいて数万規模のメールアカウントを管理しており、早くから大規模メールシステムにおける統一した迷惑メール対策を進めていました。IIJ は、従前より東芝のグループネットワークに対し、Web アクセスにおけるセキュリティ管理を提供する『IIJ Web ゲートウェイサービス』の提供を行っていましたが、IIJ の持つ高いインターネット技術や、IIJ Web ゲートウェイサービスにおける運用実績、迷惑メール対策への先進的な取組みが評価され、この度のサービス提供となりました。

今回の迷惑メール対策ソリューションの導入では、すでに稼働している『IIJ エッジフィルタ』でメール流量が約 3 割削減される効果が出ており、『IIJ 迷惑メールフィルタ』を組み合わせることで、さらなる効果が見込まれています。

IIJ 迷惑メール対策ソリューション概要

以下のサービスを組み合わせた多段構成でのフィルタリングにより、より効率良く迷惑メールを処理し、迷惑メール判定の誤検知を減らすと共に、無駄な追加設備投資を防ぐことが可能となります。

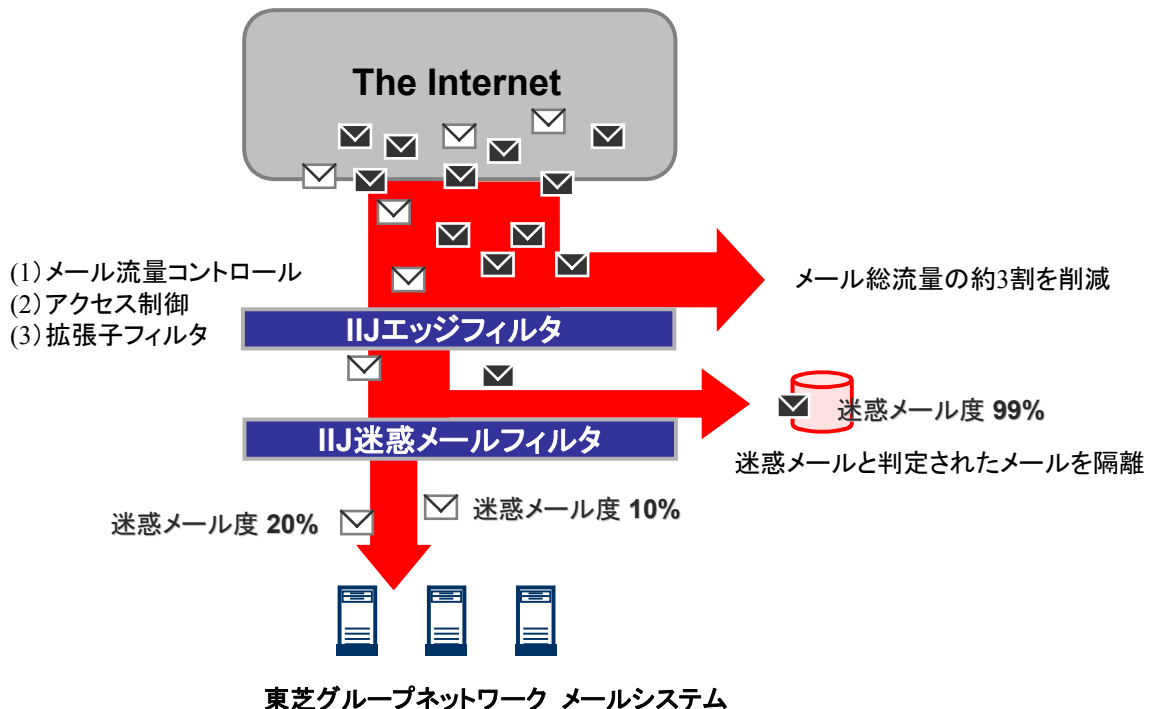
【IIJ エッジフィルタ】

IIJ 自社開発による迷惑メール対策ソリューションで、(1)メール流量コントロール(単位時間あたりの受信数を元に大量送信型メールであると判断されるメールを遮断・通信制限する機能)、(2)アクセス制御(IPアドレス、送信者・受信者情報の組み合わせにより特定の送信元からのメールを遮断・通信制限する機能)、(3)拡張子フィルタ(メールに添付されたファイルの拡張子から不要と判断されるファイルの受信を遮断・通信制限する機能)により、大量送信型メールをメールシステムの入口で排除するサービスです。このサービスにより、大量のメールが一気にメールシステムへ流れ込むことによるシステムの過負荷や障害を防ぎ、メールシステムの可用性を向上させます。

【IIJ 迷惑メールフィルタ】

米国 MX Logic 社のフィルタリングエンジンを利用した迷惑メール対策ソリューションで、受信メールの情報からそのメールが迷惑メールである「度合い」を判定してパーセンテージでスコアづけし、そのスコアを元にメールの振り分け作業を行います。迷惑メールである可能性が高いメールは、一旦自動的に隔離し、一括で削除することが可能となるため、運用負荷が大幅に削減されます。

IIJ では、今後の展開として、迷惑メール対策に有用な技術として注目されている『送信ドメイン認証』の提供も予定しております。IIJ は、日々の活動に必要なコミュニケーションツールとなっているメールをより一層使いやすくするために今後もサービス展開を進めてまいります。



報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 川上、中川

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <http://www.iij.ad.jp/>